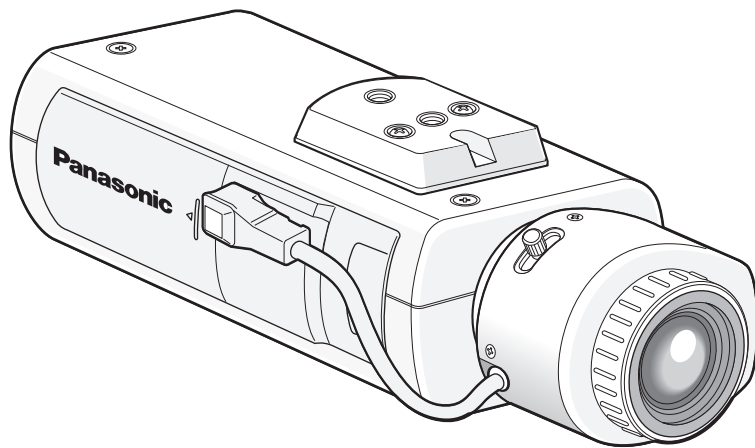


Panasonic[®]

取扱説明書 操作・設定編

カラーテレビカメラ

品番 WV-CP500, WV-CP504



イラストはWV-CP500です
(レンズは別売りです)

はじめに

取扱説明書について

本機の取扱説明書は、本書（PDFファイル）と取扱説明書 基本編の2部構成になっています。

本書では、本機の設定のしかたについて説明しています。

本機の設置のしかたは、「取扱説明書 基本編」をお読みください。

PDFファイルをご覧になるためには、アドビシステムズ社のAdobe® Reader®が必要です。PCにAdobe® Reader®日本語版がインストールされていないときは、アドビシステムズ社のホームページから最新のAdobe® Reader®日本語版をダウンロードし、インストールしてください。

商標および登録商標について

AdobeおよびReaderは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

もくじ

はじめに

はじめに	2
取扱説明書について	2
商標および登録商標について	2

設定

SETUPメニューについて	5
SETUPメニュー一覧	5
基本的な操作のしかた	6
画面遷移図	7
カメラタイトルを設定する [CAMERA ID] ..	8
カメラの動作に関する設定を行う [CAMERA SETUP] ..	9
①シーンファイルを登録する [SCENE1 / SCENE2]	9
②光量制御方式を設定する [ALC/ELC]	10
SUPER-D5 (スーパーダイナミック機能) について	10
SUPER-D5を設定する	10
③電子シャッター機能を設定する [SHUTTER]	13
④ゲインの調整方法を設定する [AGC]	13
⑤電子感度アップを設定する [SENS UP]	13
⑥ホワイトバランスの調整方法を設定する [WHITE BAL] ...	14
手動でホワイトバランスを微調整する	15
⑦デジタルノイズリダクション機能を設定する [DNR] ..	15
⑧白黒モードの各種設定を行う [BW MODE]	15
⑨i-VMDの設定を行う [i-VMD]	17
動き検知に関する設定を行う	17
置き去り / 持ち去り検知に関する設定を行う	19
検知エリアを設定する	20
妨害検知に関する設定を行う	21
検知枠の表示に関する設定を行う	22
アラーム通知に関する設定を行う	22
カメラのシステムに関する設定を行う	
[SYSTEM SETUP]	23
⑩同期方式を設定する [SYNC]	23
電源同期モード (LL) に関する設定を行う	23

①	アラーム入力端子／アラーム出力端子を設定する [ALARM IN/OUT] ...	24	
	アラーム入力端子の設定を行う	24	
	アラーム出力端子の設定を行う	25	
②	プライバシーゾーンを設定する [PRIVACY ZONE] ..	25	
③	画揺れを補正する [STABILIZER]	26	
④	電子ズームを設定する [EL-ZOOM]	27	
バックフォーカスに関する設定を行う			
	[BACK-FOCUS SETUP]	28	
特別メニューの設定を行う [SPECIAL SETUP] ..			30
	クロマレベル (色の濃さ) を調整する [CHROMA GAIN] ...	30	
	アパーチャーレベルを調整する [AP GAIN]	30	
	ペDESTALレベル (明るさ) を調整する [PEDESTAL]	30	
	クロマ位相 (色合い) を調整する [HUE]	30	
	傷を補正する [PIX OFF]	31	
	通信設定を行う [COMMUNICATION]	32	
	初期設定に戻す [CAMERA RESET]	32	
	シリアルナンバーを確認する [SER.NO.]	32	
言語を設定する [LANGUAGE SETUP] ...			33
ショートカット操作について			34

SETUPメニューについて

本機を使用する場合、あらかじめSETUPメニューで各項目を設定しておく必要があります。撮影場所の条件に合わせて、各項目を設定します。

本書では、SETUPメニューのLANGUAGE設定が「JAPANESE」（日本語）の場合で説明します。

SETUPメニュー一覽

設定項目	概要	参照ページ
CAMERA ID	カメラタイトルを設定します。カメラの設置場所などを表すタイトルを英数字・記号・カタカナで作成し、画面上に表示します。	8
CAMERA	カメラ動作に関する設定を行います。	9
SCENE 1 / SCENE 2	シーンファイルを選択します。夜間や休日の設定を別にしたい場合など、シーンごとに設定内容を登録しておくことができます。	9
ALC/ELC	使用するレンズに合わせて、カメラに入る光量の制御方式を設定します。	10
SHUTTER	電子シャッターの速度を設定します。	13
AGC	ゲインの調整方法を設定します。	13
SENS UP	電子感度アップを設定します。	13
WHITE BAL	ホワイトバランスの調整方法を設定します。	14
DNR	デジタルノイズリダクション機能を設定します。	15
BW MODE	カラー映像と白黒映像の切り換えなど、白黒モードに関する各種設定を行います。	15
i-VMD	動き検知や置き去り / 持ち去り検知など、インテリジェントVMD (Video Motion Detector) に関する設定を行います。	17
SYSTEM	同期方式やアラーム入出力、プライバシーゾーンなどカメラのシステムに関する設定を行います。	23
SYNC	同期方式を設定します。	23
ALARM IN/OUT	アラーム入力端子 / アラーム出力端子の設定を行います。	24
PRIVACY ZONE	撮影場所の中での映したくない部分だけを表示しないよう設定します。	25
STABILIZER	カメラの画揺れ補正を行うかどうかを設定します。	26
EL-ZOOM	電子ズームを設定します。	27
BACK-FOCUS	バックフォーカスの調整方法の設定と微調整を行います。	28
SPECIAL		
CHROMA GAIN	クロマレベル（色の濃さ）を調整します。	30
AP GAIN	アパーチャーレベルを調整します。	30
PEDESTAL	ペDESTALレベル（明るさ）を調整します。	30
HUE	クロマ位相（色合い）を調整します。	30
PIX OFF	傷などの映像の不具合を補正します。	31
COMMUNICATION	レシーバーを使用したシステムで、本機を使用する場合に必要な通信設定を行います。	32
CAMERA RESET	SETUPメニューの設定内容を初期設定に戻します。	32
SER.NO.	本機のシリアルナンバーを確認します。	32
LANGUAGE	SETUPメニューの言語を設定します。	33

SETUP メニューについて (つづき)

基本的な操作のしかた

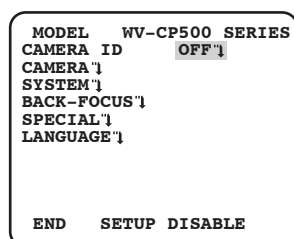
SETUPメニューの基本的な操作のしかたを説明します。

SETUPメニューの操作は、接続しているモニターにSETUPメニューを表示して、操作ボタンで行います。操作ボタンについては、「取扱説明書 基本編」をお読みください。

システムコントローラー（別売り）から行うこともできます。

画面1

設定ボタンを2秒以上押し続け、SETUPメニューのトップ画面を表示します。



STEP1

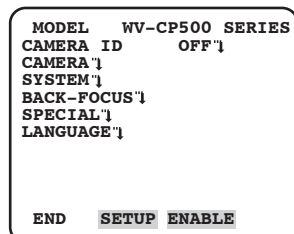
上ボタンまたは下ボタンを押して、カーソルを「END」に合わせます。

STEP2

右ボタンを押して「SETUP」にカーソルを合わせ、設定ボタンを押して、設定モードを「DISABLE」→「ENABLE」に切り換えます。

画面2

設定モードが「ENABLE」に切り換わり、設定できる状態になります。

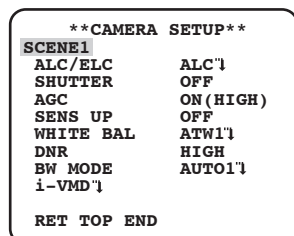


STEP3

設定したいSETUPメニューにカーソルを合わせ、設定ボタンを押します。

画面3

選択したSETUPメニューの設定画面が表示されます。



STEP4

各設定項目を設定します。

- 設定項目の選択：
上ボタンまたは下ボタンを押して、カーソルを移動します。
- 設定内容の切り換え：
左ボタンまたは右ボタンを押します。
- 設定項目の詳細設定画面を表示：
「↓」が表示されている設定項目で設定ボタンを押します。
- 前の設定画面に戻る：
「RET」にカーソルを合わせ、設定ボタンを押します。
- トップ画面に戻る：
「TOP」にカーソルを合わせ、設定ボタンを押します。

メモ

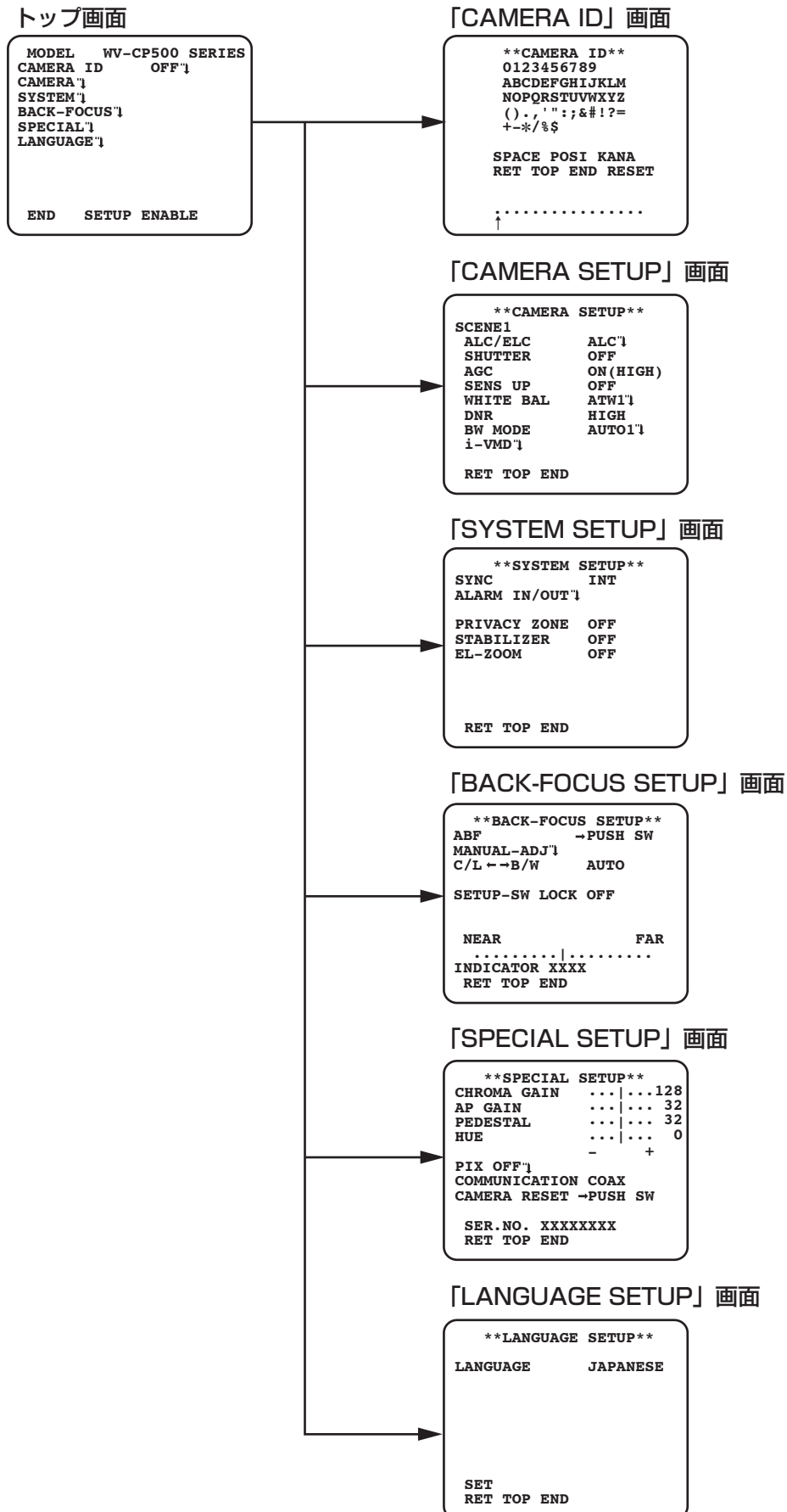
- 本機では誤操作を防止するため、操作ボタンでSETUPメニューのトップ画面を表示すると、必ず設定モードが「DISABLE」になっています。操作するときは「ENABLE」に切り換えてください。
- カーソルとは設定項目が反転表示している部分をいいます。

STEP5

カメラ映像の画面に戻るときは、「END」にカーソルを合わせ、設定ボタンを押します。

SETUP メニューについて (つづき)

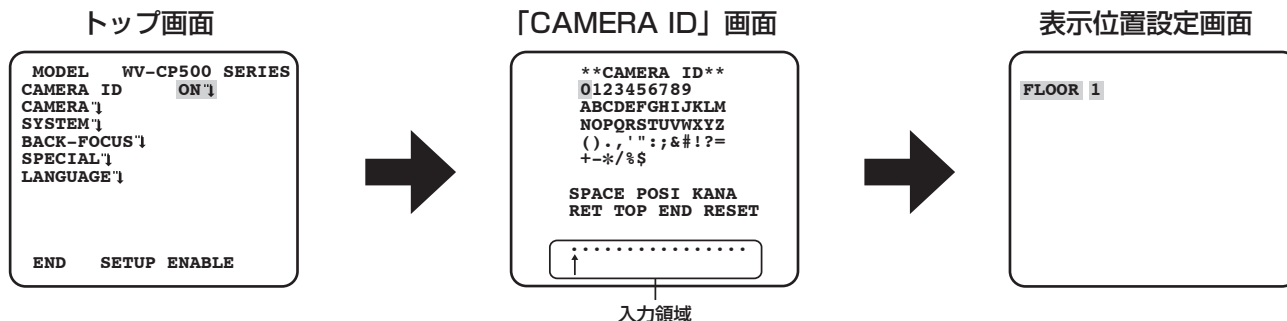
画面遷移図



カメラタイトルを設定する [CAMERA ID]

カメラタイトルを設定します。カメラの設置場所などを表すタイトルを英数字・記号・カタカナで作成し、画面上に表示します。カメラタイトルは最大16文字まで設定できます。

以下の手順に従って、カメラタイトルを設定します。



STEP1

トップ画面で「CAMERA ID」を「ON」に設定し、設定ボタンを押します。

→「CAMERA ID」画面が表示されます。

重要

- 「CAMERA ID」が「OFF」の場合、カメラタイトルを設定しても表示されません。

STEP2

上／下／左／右ボタンで表示したい文字にカーソルを合わせ、設定ボタンを押して文字を入力します。

→入力した文字は入力領域に表示されます。

〈文字入力について〉

- 文字を修正したいときは、入力領域の矢印（↑）を修復する文字に合わせ、左ボタンまたは右ボタンを押してカーソル（↑）を変更したい文字に合わせ、再入力します。
- 空白スペースを挿入したいときは、「SPACE」にカーソルを合わせ、設定ボタンを押します。
- 入力した文字をすべて消去したいときは、「RESET」にカーソルを合わせ、設定ボタンを押します。
- カタカナを入力したいときは、「KANJI」にカーソルを合わせて設定ボタンを押し、カタカナ入力画面を表示させます。
- 英数字を入力したいときは「ALPHA」にカーソルを合わせて設定ボタンを押し、英数字入力画面を表示させます。

STEP3

タイトルを入力したら、「POSI」にカーソルを合わせ、設定ボタンを押します。

→表示位置設定画面が表示されます。

STEP4

上／下／左／右ボタンでタイトルを表示する位置を決め、設定ボタンを押します。

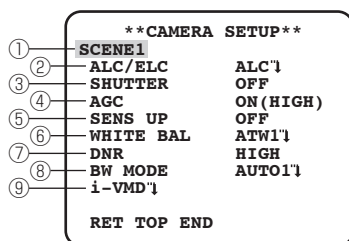
→カメラタイトルと表示位置が設定されます。

カメラの動作に関する設定を行う [CAMERA SETUP]

カメラの動作に関する設定を行います。トップ画面から「CAMERA SETUP」画面を表示して設定を行います。表示のしかたは6ページをお読みください。

「CAMERA SETUP」で設定した内容は、シーンファイルとして保存されます。

「CAMERA SETUP」画面



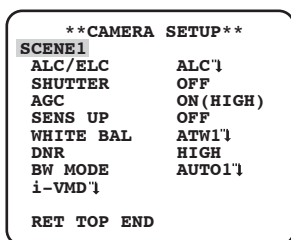
① シーンファイルを登録する [SCENE1 / SCENE2]

シーンファイルは2パターンまで設定できます。昼間と夜間で設定を変えたい場合に、昼間の動作はSCENE1に、夜間の動作はSCENE2に登録する、というような使い分けができます。

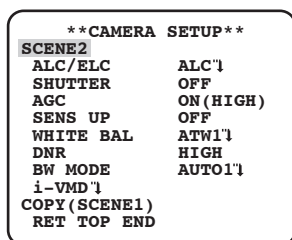
アラーム入力端子やショートカット操作でシーンファイルの切り換えができます。(※24、35ページ)

初期設定では、「SCENE1」が選択された状態になっています。

SCENE1が選択された画面



SCENE2が選択された画面



STEP1

「SCENE1」が選択されていることを確認し、「ALC/ELC」から「i-VMD」までの設定を行います。(※10～22ページ)

シーンファイルを切り換えて使う場合は、STEP2へ進んでください。

STEP2

カーソルを「SCENE1」に合わせ、左ボタンまたは右ボタンを押して、「SCENE2」に設定します。

→画面が切り換わり、「COPY (SCENE1)」が表示されます。

STEP3

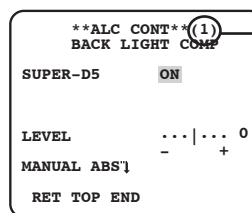
「SCENE1」を元に「SCENE2」を設定する場合は、「COPY (SCENE1)」にカーソルを合わせ、設定ボタンを押します。

→「SCENE1」の設定内容が「SCENE2」にコピーされます。

STEP4

変更したい項目を設定します。

各設定画面のタイトル右横の数字は、シーンファイル番号を表します。



シーンファイル
番号

STEP5

通常運用に備え、カーソルを「SCENE2」に合わせて左ボタンまたは右ボタンを押し、「SCENE1」に戻します。

重要

- 「ALARM IN」の設定が「SCENE2」の場合、「SCENE X (EXT)」と表示されて変更できません。
※Xには「1」または「2」が表示されます。

カメラの動作に関する設定を行う [CAMERA SETUP] (つづき)

② 光量制御方式を設定する [ALC/ELC]

使用するレンズに合わせて、カメラに入る光量の制御方式を以下から設定します。

ALC (初期設定) : 被写体の明るさに応じて、自動でレンズの絞りを調整します。自動絞りレンズ (ALCレンズ) を使用するときには、この設定にします。

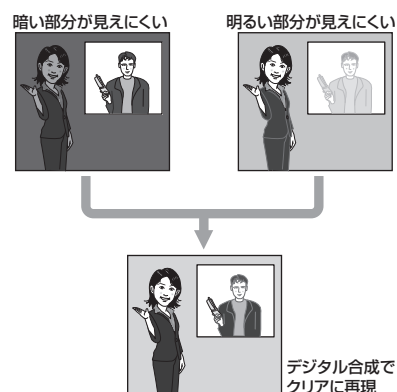
ALC+ : 電子シャッターと自動絞りを併用して光量を制御します。自動絞りレンズを用いて屋外など明るい被写体を撮影するときには、この設定にします。蛍光灯照明下などではフリッカが発生することがありますので、注意してください。

ELC : 電子シャッターを使用して光量を制御します。固定絞りレンズや手動絞りレンズを使用するときには、この設定にします。

SUPER-D5 (スーパーダイナミック機能) について

撮影する場所の明るい部分と暗い部分の差が大きいと、カメラは明るい部分に合わせてレンズの絞りを設定してしまうため、暗い部分が見えなくなってしまう。逆に暗い部分にレンズの絞りを合わせると、明るい部分が見えなくなってしまう。

この明暗差の大きな被写体の明るい部分がよく見える映像と、暗い部分がよく見える映像をデジタル処理で合成し、明るい部分も暗い部分も忠実に再現する機能をスーパーダイナミック機能といいます。



SUPER-D5を設定する

「ALC/ELC」を「ALC」に設定している場合、SUPER-D5機能を動かせることができます。

以下の手順に従って操作します。

「CAMERA SETUP」画面

```
**CAMERA SETUP**
SCENE1
ALC/ELC      ALC1
SHUTTER      OFF
AGC           ON(HIGH)
SENS UP      OFF
WHITE BAL    ATW11
DNR          HIGH
BW MODE      AUTO11
i-VMD1
RET TOP END
```

「ALC CONT」画面

```
**ALC CONT**(1)
BACK LIGHT COMP
SUPER-D5     ON
LEVEL        ...|... 0
MANUAL ABS1
RET TOP END
```

エリア設定画面

```
**AREA ** (1)
POSITION     →PUSH SW
UPPER LEFT
DEL
RET TOP END
```

STEP1

「ALC/ELC」を「ALC」に設定し、設定ボタンを押します。

→ 「ALC CONT」画面が表示されます。

メモ

- 「ALC/ELC」を「ELC」または「ALC+」に設定し、設定ボタンを押した場合、「ELC CONT」画面または「ALC+ CONT」画面が表示されます。
- 「ELC」または「ALC+」に設定している場合は、SUPER-D5機能を動かせることはできません。「---」と表示され、「OFF」の設定になります。

STEP2

カーソルを「SUPER-D5」に合わせ、以下から設定します。

ON (初期設定) : 常にSUPER-D5機能を動かします。(P.11ページ)

ON (i-VMD) : 常にSUPER-D5機能を動かします。(P.11ページ)

さらに物体の動きを検知し、動く物体を見やすくします。

OFF : SUPER-D5機能を停止します。(P.12ページ)

カメラの動作に関する設定を行う [CAMERA SETUP] (つづき)

メモ

- SUPER-D5機能を「ON」、「ON (i-VMD)」に設定すると、以下の設定項目の設定内容が制限されます。
SHUTTER : OFF、1/100のみ設定可能 (☞13ページ)
SENS UP : OFF、AUTOのみ設定可能 (☞13ページ)
- SUPER-D5機能を「ON」、「ON (i-VMD)」に設定すると、明るい部分と暗い部分との境界に影 (黒い線) が表示されることがありますが、故障ではありません。
- SUPER-D5機能を「ON」、「ON (i-VMD)」に設定した場合は、「LEVEL」を少し上げ気味に設定すると、より効果が得られます。ただし、レベルを上げすぎると、残像 (ちらつき) やノイズなどが多くなる場合があります。
- 照明の条件によって以下のような現象がみられるときは、「OFF」に設定してください。
(1) 画面のちらつきや色の変化が生じる場合
(2) 画面上の明るい部分にノイズが生じる場合
- SUPER-D5機能を「ON (i-VMD)」に設定した場合、動き検知の性能は、i-VMDの設定 (☞18ページ STEP4 ~ STEP6) に依存します。

SUPER-D5機能を使用する場合

以下の手順に従って操作します。

STEP1

カーソルを「LEVEL」に合わせ、左ボタンまたは右ボタンでレベルを調整します。

STEP2

映像の暗い部分を指定してその部分を明るくすることができます。
カーソルを「MANUAL ABS」に合わせ、設定ボタンを押します。
→エリア設定画面が表示されます。

STEP3

カーソルを「POSITION」に合わせ、設定ボタンを押します。

STEP4

上/下/左/右ボタンを押して設定したいエリアの左上の位置を決め、設定ボタンを押します。

STEP5

上/下/左/右ボタンを押してエリアの右下の位置を決め、設定ボタンを押します。

メモ

- エリアを消去する場合は、「DEL」にカーソルを合わせて設定ボタンを押します。
- 明るくなるエリアは円形状になります。
- エリアの明るさのレベルは設定できません。
- 設定できるエリアは1か所のみです。

カメラの動作に関する設定を行う [CAMERA SETUP] (つづき)

SUPER-D5機能を使用しない場合

以下の手順に従って操作します。

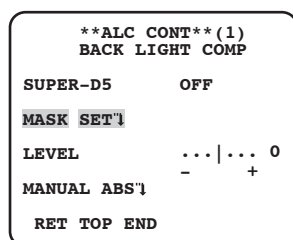
STEP1

SUPER-D5機能を「OFF」に設定した場合、映像の明るい部分にマスクをかけ、暗い部分を見やすくすることができます。

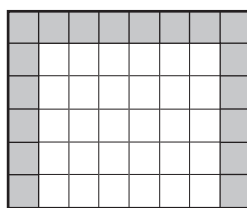
カーソルを「MASK SET」に合わせ、設定ボタンを押します。

→マスク設定画面が表示されます。

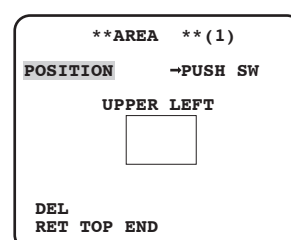
「ALC CONT」画面



マスク設定画面



エリア設定画面



STEP2

映像の明るい部分にマスクをかけます。

上／下／左／右ボタンを押して、マスクをかけたい区画に点滅表示を合わせ、設定ボタンを押します。マスクがかかると、区画が横縞と白の交互表示になります。点滅表示を他の区画に移動すると白く表示されます。マスクをかけたい区画に上記の操作を行います。

メモ

- マスクの設定を取り消したいときは、取り消したい区画に点滅表示を合わせ、設定ボタンを押します。
- すべてのマスク設定を取り消す場合は、左ボタンと右ボタンを同時に2秒以上押し続けます。

STEP3

マスクの設定が完了したら、設定ボタンを約2秒以上押し続けます。

→「ALC CONT」画面（「ELC CONT」画面または「ALC+ CONT」画面）に戻ります。

STEP4

カーソルを「LEVEL」に合わせ、左ボタンまたは右ボタンでレベルを調整します。

STEP5

映像の暗い部分を指定して、その部分を明るくすることができます。

カーソルを「MANUAL ABS」に合わせ、設定ボタンを押します。

→エリア設定画面が表示されます。

STEP6

カーソルを「POSITION」に合わせて設定ボタンを押し、エリアを設定します。

設定のしかたはSUPER-D5機能を使用する場合と同じです。(11ページ STEP4、STEP5)

カメラの動作に関する設定を行う [CAMERA SETUP] (つづき)

③電子シャッター機能を設定する [SHUTTER]

電子シャッターのスピードを変えると以下のことができます。

- スピードを早くすると、動きの早い被写体でもぼけにくくなります。
- 50 Hzの蛍光灯照明下などでフリッカ（ちらつき）が発生するときは、1/100に設定することでフリッカを軽減できます。

電子シャッターのスピードを以下から設定します。SUPER-D5機能の設定によって、設定できる値が異なります。

SUPER-D5機能を「OFF」に設定しているとき

：OFF (1/60) (初期設定)、1/100、1/250、1/500、1/1 000、1/2 000、1/4 000、1/10 000

SUPER-D5機能を「ON」、「ON (i-VMD)」に設定しているとき

：OFF (1/60) (初期設定)、1/100

メモ

- 「ALC/ELC」(10ページ) を「ELC」または「ALC+」に設定している場合、「---」と表示され、電子シャッター機能は設定できません。
- コントローラー WV-CU254、WV-CU204を使用した場合、「SHUTTER」のSW LED、ステータス表示が正しく表示されません。

④ゲインの調整方法を設定する [AGC]

ゲイン調整方法を以下から設定します。

ON (HIGH) (初期設定) / ON (MID) / ON (LOW)

：被写体の照度が暗くなると、自動的にゲインを上げ画面を明るくします。

() 内のHIGH/MID/LOWはゲインのレベルになります。

OFF : ゲインを上げません。

メモ

- 「SENS UP」をAUTOモードに設定している場合、「AGC」は「OFF」に設定することができません。

⑤電子感度アップを設定する [SENS UP]

電子感度アップ機能を使用すると、CCDに蓄積する光量を増大させ、映像を明るくできます。FIXでは倍率は固定となり、AUTOでは被写体の照度に応じて、自動的に倍率が変化します。

電子感度の倍率は以下から設定します。SUPER-D5機能の設定によって、設定できる値が異なります。

SUPER-D5機能を「OFF」に設定しているとき

OFF (初期設定) / X2 AUTO / X4 AUTO / X6 AUTO / X10 AUTO / X16 AUTO / X32 AUTO / OFF / X2 FIX / X4 FIX / X6 FIX / X10 FIX / X16 FIX / X32 FIX

SUPER-D5機能を「ON」、「ON (i-VMD)」に設定しているとき

OFF (初期設定) / X2 AUTO / X4 AUTO / X6 AUTO / X10 AUTO / X16 AUTO / X32 AUTO

メモ

- 「ALC/ELC」(10ページ) を「ELC」または「ALC+」に設定している場合、または「SHUTTER」を「1/100」に設定している場合、AUTOモードのみが動作します。
- 「SHUTTER」を「OFF」または「1/100」以外に設定している場合、電子感度アップは設定できません。「---」と表示されて「OFF」の設定になります。
- 以下に示すコントローラーで「SENS UP」を「AUTO」に、「SHUTTER」を「1/100」に設定することはできません。操作ボタンで設定してください。
WV-CU300、WV-CU354、WV-CU204、WV-CU254
- 「SENS UP」の倍率を上げると画面がざらついたり、白っぽくなったり、傷が現れる場合がありますが、異常ではありません。
- コントローラー WV-CU254、WV-CU204を使用した場合、「SENS UP」のSW LED、ステータス表示が正しく表示されません。

カメラの動作に関する設定を行う [CAMERA SETUP] (つづき)

⑥ ホワイトバランスの調整方法を設定する [WHITE BAL]

ホワイトバランスの調整方法を以下から選択します。

ATW1 (初期設定)

: 自動色温度追尾モードに設定します。カメラが光源の色温度を継続的に確認し、ホワイトバランスを自動調整します。動作範囲は約2 700 K ~ 6 000 Kです。

メモ

- 以下の条件に該当する場合、忠実に色を再現できないことがあります。
 - 被写体の大部分が濃い色の場合
 - 光源が抜けるような青空や夕暮れ時の太陽の場合
 - 被写体を照らす照度が不足している場合

ATW2 : ナトリウム灯自動色温度追尾モードに設定します。ナトリウム灯下で最適なホワイトバランスに自動調整します。動作範囲は約2 000 K ~ 6 000 Kです。

AWC : 自動ホワイトバランスコントロールモードに設定します。光源が変化しない場所での撮影に適しています。動作範囲は約2 000 K ~ 10 000 Kです。「AWC」に設定した場合、ホワイトバランスを調整する必要があります。

「AWC」に設定した場合、以下の手順に従ってホワイトバランスを調整します。

「CAMERA SETUP」画面

```
**CAMERA SETUP**
SCENE1
ALC/ELC      ALC`1
SHUTTER      OFF
AGC          ON(HIGH)
SENS UP      OFF
WHITE BAL    AWC→PUSH SW
DNR          HIGH
BW MODE      AUTO1`1
i-VMD`1
RET TOP END
```

STEP1

「WHITE BAL」を「AWC」に設定し、左ボタンを押して、「AWC→PUSH SW」に切り換えます。

STEP2

設定ボタンを押して、ホワイトバランスを調整します。

調整中は「PUSH SW」が反転表示します。反転表示が元に戻ったらホワイトバランスの調整は終了です。

STEP3

右ボタンを押して、「AWC」に設定します。

ホワイトバランスを微調整する場合は、下記をお読みください。

メモ

- 動作範囲は約2 000 K ~ 10 000 Kです。この補正範囲から外れていたり、被写体を照らす照明が暗いときは、ホワイトバランスが完全に調整できないことがあります。このとき、「PUSH SW」の表示は反転表示のままになります。

カメラの動作に関する設定を行う [CAMERA SETUP] (つづき)

手でホワイトバランスを微調整する

自動色温度追尾モード (ATW1、ATW2)、自動ホワイトバランスコントロールモード (AWC) でホワイトバランスを自動調整したあとに、手でホワイトバランスを微調整します。
以下の手順に従って操作します。

「CAMERA SETUP」画面

```
**CAMERA SETUP**
SCENE1
ALC/ELC      ALC`1
SHUTTER      OFF
AGC           ON(HIGH)
SENS UP      OFF
WHITE BAL    ATW1`1
DNR          HIGH
BW MODE      AUTO1`1
i-VMD`1
RET TOP END
```

微調整画面

```
**ATW1**(1)
R      ...|... 0
      -  +
B      ...|... 0
      -  +
RET TOP END
```

STEP1

「WHITE BAL」を「ATW1」、「ATW2」または「AWC」に設定し、設定ボタンを押します。
→微調整画面が表示されます。

STEP2

カーソルを「R」、「B」に合わせ、左ボタンまたは右ボタンを押して、レベルを微調整します。
「R」は赤色、「B」は青色をあらわし、「+」方向に動かすと色が濃く、「-」方向に動かすと色が薄くなります。

⑦ デジタルノイズリダクション機能を設定する [DNR]

デジタルノイズリダクション機能を設定すると、低照度で自動的にノイズを低減します。
ここではノイズリダクション効果のレベルを設定します。

LOW : ノイズ低減効果小 (残像小)
HIGH (初期設定) : ノイズ低減効果大 (残像大)

⑧ 白黒モードの各種設定を行う [BW MODE]

白黒モードに関する各種設定を行います。以下の手順に従って操作します。

重要

- 「ALARM IN」の設定が「BW」の場合、「BW MODE」は「EXT」と表示されて変更できません。
(☞ 24ページ)

「CAMERA SETUP」画面

```
**CAMERA SETUP**
SCENE1
ALC/ELC      ALC`1
SHUTTER      OFF
AGC           ON(HIGH)
SENS UP      OFF
WHITE BAL    ATW1`1
DNR          HIGH
BW MODE      AUTO1`1
i-VMD`1
RET TOP END
```

「BW MODE」画面

```
**BW MODE**(1)
AUTO1
LEVEL      HIGH
DURATION TIME  ·|··
              S L
BURST(BW)   ON
RET TOP END
```

カメラの動作に関する設定を行う [CAMERA SETUP] (つづき)

STEP1

カーソルを「BW MODE」に合わせ、画面の白黒制御を以下から設定します。

AUTO1 (初期設定) : 画面の明るさ (照度) により、カラー映像と白黒映像を自動的に切り換えます。暗い場合は白黒映像に、明るい場合はカラー映像になります。

AUTO2 : 夜間時に近赤外線光源を使用する場合に設定します。

ON : 白黒映像を表示します。

OFF : カラー映像を表示します。

メモ

- カラー映像と白黒映像の切り換え時、自動的にバックフォーカスを調整し、フォーカスずれを補正します。
([P.28](#)ページ)
- 光源の判断は、CCD撮像素子の情報により簡易的に判断しているため、たえず動いている被写体や全画面が一定の色の場合にはうまく判断できない場合があります。「AUTO2」に設定している場合、光源は波長が800 nm以上のものを使用してください。

STEP2

設定ボタンを押します。

→ 「BW MODE」画面が表示されます。

STEP3

カーソルを「LEVEL」に合わせ、カラー映像と白黒映像を切り換える明るさ (照度) のレベルを以下から設定します。

LOW : カメラの周囲の明るさ (照度) が約0.1 lx以下で白黒映像に切り換えます。

HIGH (初期設定) : カメラの周囲の明るさ (照度) が約0.2 lx以下で白黒映像に切り換えます。

メモ

- カラー映像に戻るには十分な照度 (約30 lx以上) が必要です。
- 被写体やご使用の光源・レンズによって切換照度は変わります。
- AGCの設定 ([P.13](#)ページ) によって切換照度は変わります。
- 上記の切換照度はあくまでも参考値ですので、設置される環境にて確認を行ってください。

STEP4

カーソルを「DURATION TIME」に合わせ、カラー映像と白黒映像を切り換えるまでの時間を以下から設定します (初期設定: 10秒)。

2秒 - 10秒 - 30秒 - 60秒

(S) (L)

STEP5

カーソルを「BURST (BW)」に合わせ、白黒映像時にバースト信号を出力するかを設定します。

ON (初期設定) : バースト信号を出力します。

OFF : バースト信号を出力しません。

メモ

- カメラ映像を白黒で表示する場合、モニターやVTRの種類によってはバースト信号がないと正常に映像が表示されない機器があります。このような機器を使用するときは「ON」に設定します。

カメラの動作に関する設定を行う [CAMERA SETUP] (つづき)

⑨i-VMDの設定を行う [i-VMD]

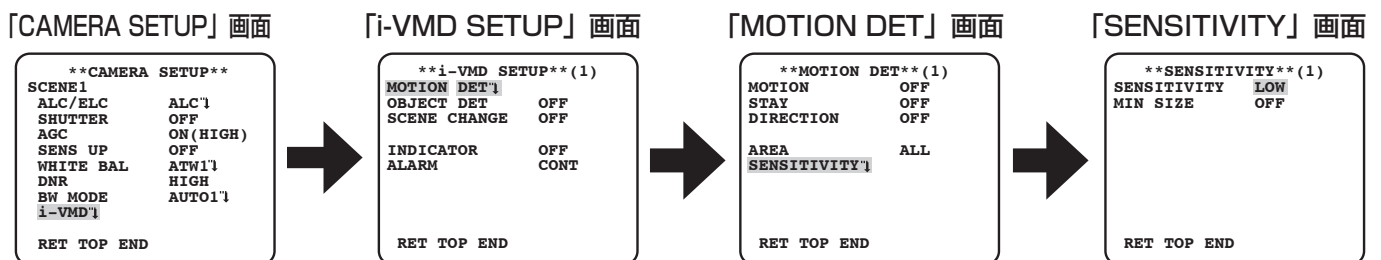
インテリジェントVMD機能を使用すると、物体の動きや置き去り／持ち去り、およびカメラに対する妨害を検知することができます。物体の動きや置き去り／持ち去り、カメラに対する妨害を検知すると、アラーム信号を送出したり、画面上に枠を表示したりできます。

重要

- 以下のような場合、検知しなかったり、誤検知することがあります。検知エリアや感度を調整して使用してください。
 - 背景と動いている被写体に輝度（明るさ）の差がない、または明るさの変化が大きい場合
 - レンズなどに汚れや水滴が付いている場合
 - 夜間など映像の輝度が低い場合
 - 被写体がカメラに向かってまっすぐ移動している場合
 - 被写体の動きが早すぎたり遅すぎたりする場合
 - 被写体が小さすぎたり大きすぎたりする場合
 - 移動物体が多すぎる場合
 - 窓越し、路面の照り返しなど光の反射がある場合
 - カメラが揺れている場合
 - 日光、車のヘッドライトなどの外光が入る場合
 - 蛍光灯がちらつく場合
- 以下のような場合、妨害検知ができないことがあります。
 - 画面の一部しか覆い隠されていない場合や、覆いが透けている場合
 - カメラの向きを変えられる前と後との被写体が似ている場合
- 電源投入後、SETUPメニュー終了後、およびカメラの画角が変わった場合、約1分間は誤検知する場合があります。

動き検知に関する設定を行う

物体の動き検知に関する設定を行います。動き検知では、あらかじめ設定した方向に動いたもののみを検知したり、一定時間動きが継続しているものを検知したりできます。動き検知は、最大4つまで同時に検知することができます。以下の手順に従って操作します。



STEP1

カーソルを「i-VMD」に合わせ、設定ボタンを押します。
→ 「i-VMD SETUP」画面が表示されます。

STEP2

カーソルを「MOTION DET」に合わせ、設定ボタンを押します。
→ 「MOTION DET」画面が表示されます。

カメラの動作に関する設定を行う [CAMERA SETUP] (つづき)

STEP3

動き検知モードの設定を行います。本機では3種類の動き検知モードを設定できます。

物体の動きを検知する

カーソルを「MOTION」に合わせ、以下から設定します。

ON : 動きを検知すると、アラーム信号を送出します。

OFF (初期設定) : 動き検知を行いません。

一定時間動きが継続している物体を検知する

カーソルを「STAY」に合わせ、継続時間を以下から設定します。

設定した時間のあいだ、継続して動く物体を検知するとアラーム信号を送出します。

OFF (初期設定) / ON (5 s) / ON (10 s) / ON (20 s) / ON (30 s) / ON (40 s) / ON (50 s) / ON (1 min)

設定した方向に動いた物体を検知する

カーソルを「DIRECTION」に合わせ、検知する方向を以下から設定します。

設定した方向に物体が移動すると、アラーム信号を送出します。

OFF (初期設定) / ON (↑) / ON (↗) / ON (→) / ON (↘) / ON (↓) / ON (↙) / ON (←) / ON (↖)

STEP4

カーソルを「AREA」に合わせ、動き検知を行うエリアを設定します。

ここで設定したエリアは、STEP3で設定した動作すべてに適用されます。

ALL (初期設定) : 全領域が検知エリアに設定されます。

SETUP : 「SETUP」を選択し、設定ボタンを押すと、任意のエリアを2か所まで設定できます。設定のしかたは20ページをお読みください。

STEP5

カーソルを「SENSITIVITY」に合わせ、設定ボタンを押します。

→ 「SENSITIVITY」画面が表示されます。

STEP6

「SENSITIVITY」画面では、検知する感度と検知する物体の最小サイズを設定します。検知結果が画面に表示されますので、画面表示を確認しながら設定してください。

検知する感度を設定する

カーソルを「SENSITIVITY」に合わせ、検知する感度を以下から設定します。

LOW (初期設定) / MID / HIGH

検知する物体の最小サイズを設定する

カーソルを「MIN SIZE」に合わせ、検知する物体の最小サイズを以下から設定します。画面中央に設定サイズが緑枠で表示されます。「OFF」に設定すると、物体のサイズに関係なく検知します。

検知結果が画面に表示されますので、画面表示を確認しながら設定してください。

OFF (初期設定) / SMALL / MEDIUM / LARGE

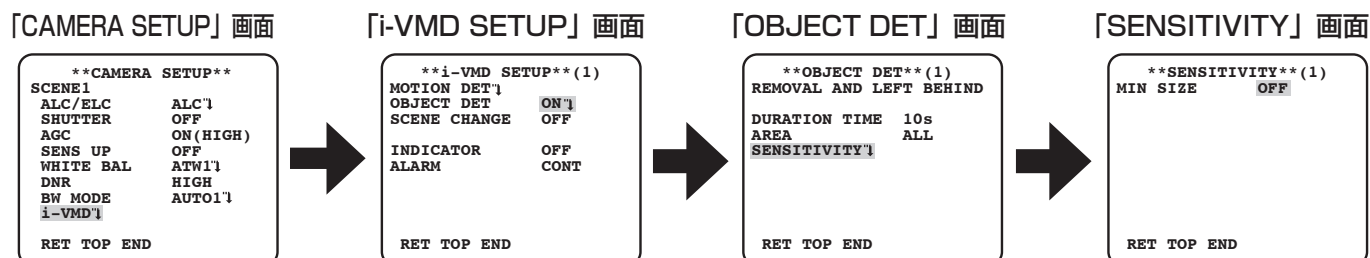
メモ

- ここで設定した感度および最小サイズは、STEP3で設定した動作すべてに適用されます。
- 「SENSITIVITY」画面に表示される白枠は、STEP4で設定した検知エリアです。
- 「SENSITIVITY」画面では、動きを検知すると青枠が表示され、一定時間 (約1秒) 経過後、赤枠になります。運用時は赤枠になったときにアラーム信号が送出されます。

カメラの動作に関する設定を行う [CAMERA SETUP] (つづき)

置き去り／持ち去り検知に関する設定を行う

物体の置き去り／持ち去り検知に関する設定を行います。置き去り／持ち去り検知は、最大4つまで同時に検知することができます。ただし、妨害検知を使用した場合は、同時に検知できるのは最大3つとなります。以下の手順に従って操作します。



STEP1

カーソルを「i-VMD」に合わせ、設定ボタンを押します。
→ 「i-VMD SETUP」画面が表示されます。

STEP2

タイトル右横のカーソルを「OBJECT DET」に合わせて「ON」に設定し、設定ボタンを押します。
→ 「OBJECT DET」画面が表示されます。

STEP3

カーソルを「DURATION TIME」に合わせ、置き去り／持ち去りを検知するまでの時間を以下から設定します。
10 s (初期設定) / 20 s / 30 s / 40 s

STEP4

カーソルを「AREA」に合わせ、置き去り／持ち去り検知を行うエリアを設定します。
ALL (初期設定) : 全領域が検知エリアに設定されます。
SETUP : 「SETUP」を選択し、設定ボタンを押すと、任意のエリアを2か所まで設定できます。設定のし
かたは20ページをお読みください。

STEP5

カーソルを「SENSITIVITY」に合わせ、設定ボタンを押します。
→ 「SENSITIVITY」画面が表示されます。

STEP6

カーソルを「MIN SIZE」に合わせ、検知する物体の最小サイズを以下から設定します。画面中央に設定サイズが
緑枠で表示されます。「OFF」に設定すると、物体のサイズに関係なく検知します。
検知結果が画面に表示されますので、画面表示を確認しながら設定してください。
OFF (初期設定) / SMALL / MEDIUM / LARGE

メモ

- 「SENSITIVITY」画面に表示される白枠は、STEP4で設定した検知エリアです。
- 「SENSITIVITY」画面では、置き去り／持ち去りを検知すると赤枠が表示されます。

カメラの動作に関する設定を行う [CAMERA SETUP] (つづき)

検知エリアを設定する

動き検知、置き去り／持ち去り検知を行うエリアを設定します。検知エリアはそれぞれ2か所まで設定できます。以下の手順に従って操作します。

「MOTION DET」画面

```
**MOTION DET**(1)
MOTION          OFF
STAY            OFF
DIRECTION       OFF
AREA            SETUP*
SENSITIVITY*

RET TOP END
```

「OBJECT DET」画面

```
**OBJECT DET**(1)
REMOVAL AND LEFT BEHIND
DURATION TIME  10s
AREA           SETUP*
SENSITIVITY*

RET TOP END
```



エリア設定画面

```
**AREA 1 /2**(1)
POSITION      -PUSH SW
UPPER LEFT
[ ]
DEL
RET TOP END
```

STEP1

カーソルを「AREA」に合わせて「SETUP」を選択し、設定ボタンを押します。
→「AREA」画面が表示されます。

STEP2

タイトル右横の数字にカーソルを合わせ、左ボタンまたは右ボタンで設定するエリア番号を選択します。

STEP3

カーソルを「POSITION」に合わせて、設定ボタンを押します。

STEP4

上／下／左／右ボタンで設定したいエリアの左上の位置を決め、設定ボタンを押します。

メモ

- 選択している番号のエリアは緑枠で表示され、他の設定済みのエリアは白枠で表示されます。

STEP5

上／下／左／右ボタンで設定したいエリアの右下の位置を決め、設定ボタンを押します。

→数字の右横に「*」が表示され、エリアが保存されます。

メモ

- エリアを消去する場合は、消去したいエリア番号を選択し、「DEL」にカーソルを合わせて設定ボタンを押します。
- 設定したエリアを変更する場合は、変更したいエリア番号を選択し、STEP3からの操作を行ってください。

カメラの動作に関する設定を行う [CAMERA SETUP] (つづき)

妨害検知に関する設定を行う

カメラを布やふたなどで覆い隠されたり、カメラの向きを大きく変えられるなどして被写体が変わったことを検知できます。

以下の手順に従って操作します。

「CAMERA SETUP」画面

```

**CAMERA SETUP**
SCENE1
ALC/ELC      ALC`1
SHUTTER      OFF
AGC           ON(HIGH)
SENS UP      OFF
WHITE BAL    ATW1`1
DNR          HIGH
BW MODE      AUTO1`1
i-VMD`1
RET TOP END

```



「i-VMD SETUP」画面

```

**i-VMD SETUP**(1)
MOTION DET`1
OBJECT DET    OFF
SCENE CHANGE  OFF
INDICATOR     OFF
ALARM         CONT
RET TOP END

```

STEP 1

カーソルを「i-VMD」に合わせ、設定ボタンを押します。

→ 「i-VMD SETUP」画面が表示されます。

STEP 2

カーソルを「SCENE CHANGE」に合わせ、以下から設定します。

ON : 妨害を検知すると、アラーム信号を送出します。

OFF (初期設定) : 妨害検知を行いません。

カメラの動作に関する設定を行う [CAMERA SETUP] (つづき)

検知枠の表示に関する設定を行う

以下の手順に従って操作します。

「CAMERA SETUP」画面

```
**CAMERA SETUP**
SCENE1
ALC/ELC      ALC↓
SHUTTER      OFF
AGC          ON(HIGH)
SENS UP      OFF
WHITE BAL    ATW1↓
DNR          HIGH
BW MODE      AUTO1↓
i-VMD↓
RET TOP END
```



「i-VMD SETUP」画面

```
**i-VMD SETUP**(1)
MOTION DET↓
OBJECT DET   OFF
SCENE CHANGE OFF
INDICATOR    OFF
ALARM        CONT
RET TOP END
```

STEP1

カーソルを「i-VMD」に合わせ、設定ボタンを押します。

→ 「i-VMD SETUP」画面が表示されます。

STEP2

カーソルを「INDICATOR」に合わせ、検知枠を表示するかを以下から設定します。

OFF (初期設定) : 検知枠を表示しません。

ON (ALL) : 動き検知、置き去り／持ち去り検知、妨害検知の検知枠を表示します。

ON (OBJ) : 置き去り／持ち去り検知の検知枠のみ表示します。

アラーム通知に関する設定を行う

以下の手順に従って操作します。

「CAMERA SETUP」画面

```
**CAMERA SETUP**
SCENE1
ALC/ELC      ALC↓
SHUTTER      OFF
AGC          ON(HIGH)
SENS UP      OFF
WHITE BAL    ATW1↓
DNR          HIGH
BW MODE      AUTO1↓
i-VMD↓
RET TOP END
```



「i-VMD SETUP」画面

```
**i-VMD SETUP**(1)
MOTION DET↓
OBJECT DET   OFF
SCENE CHANGE OFF
INDICATOR    OFF
ALARM        CONT
RET TOP END
```

STEP1

カーソルを「i-VMD」に合わせ、設定ボタンを押します。

→ 「i-VMD SETUP」画面が表示されます。

STEP2

カーソルを「ALARM」に合わせ、アラーム通知に関する設定を行います。

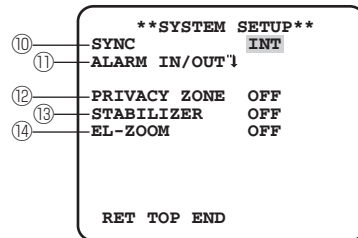
CONT (初期設定): 検知時、アラーム信号を送出し続けます。

1 TIME : 検知開始時に1回 (100 ms) だけアラーム信号を送出します。

カメラのシステムに関する設定を行う [SYSTEM SETUP]

同期方式やアラーム入出力端子、プライバシーゾーンなどカメラのシステムに関する設定を行います。
トップ画面から「SYSTEM SETUP」画面を表示して設定を行います。表示のしかたは6ページをお読みください。

「SYSTEM SETUP」画面



⑩同期方式を設定する [SYNC]

本機は以下の3種類の同期方式に対応しており、いずれかを設定します。

- (1) 多重化垂直ドライブ信号 (VD2)
- (2) 電源同期 (LL) ※電源周波数を元に同期を合わせます。
- (3) 内部同期 (INT) (初期設定)

多重化垂直ドライブ信号 (VD2) が入力された場合は、カメラが他の同期方式に設定してある場合でも、自動的にVD2同期に切り換わります。

VD2同期ではないとき、電源同期か内部同期かを選択できます。

メモ

- 電源同期 (LL) の設定は、60 Hz地域の場合のみ変更できます。50 Hz地域の場合は設定できません。

電源同期モード (LL) に関する設定を行う

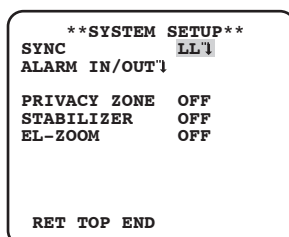
調整するカメラの映像信号と基準となる外部同期入力信号 (電源) を2入力オシロスコープに接続し、位相を調整します。

メモ

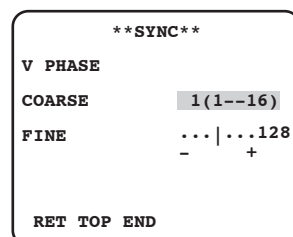
- カメラを動かしたり、交流ラインにスパイクノイズがあると、垂直位相が変化する場合があります。そのときは再調整してください。

以下の手順に従って操作します。

「SYSTEM SETUP」画面



「SYNC」画面



STEP 1

「SYNC」を「LL」に設定し、設定ボタンを押します。

→ 「SYNC」画面が表示されます。

カメラのシステムに関する設定を行う [SYSTEM SETUP] (つづき)

STEP2

カメラの映像出力信号と外部同期入力信号を2入力オシロスコープに接続し、カーソルを「COARSE」に合わせます。

STEP3

オシロスコープを垂直レートにセットし、オシロスコープの垂直同期部を拡大します。

左ボタンまたは右ボタンでカーソルを左右に動かし、垂直位相を粗調整します。

22.5°ずつ16段階で調整できます。

1 (1--16) : 0° / 2 (1--16) : 22.5° / ... / 16 (1--16) : 337.5

STEP4

カーソルを「FINE」に合わせ、垂直位相を微調整します。

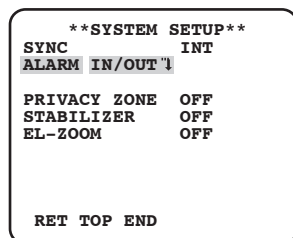
⑪ アラーム入力端子／アラーム出力端子を設定する [ALARM IN/OUT]

本機のアラーム入力端子／アラーム出力端子の動作を設定します。

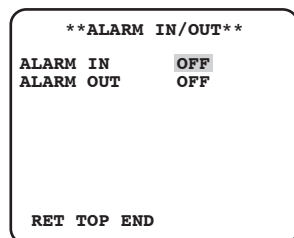
アラーム入力端子の設定を行う

アラーム入力端子の動作を設定します。以下の手順に従って操作します。

「SYSTEM SETUP」画面



「ALARM IN/OUT」画面



STEP1

カーソルを「ALARM IN/OUT」に合わせ、設定ボタンを押します。

→ 「ALARM IN/OUT」画面が表示されます。

STEP2

カーソルを「ALARM IN」に合わせ、アラーム入力端子の動作を以下から設定します。

OFF (初期設定) : 端子入力を受け付けません。

ALARM : 100 ms以上、入力端子がオンの場合にアラーム動作を行います。

VMD PERMIT : 端子入力がオンの場合、インテリジェントVMD機能が有効になります。あらかじめ「i-VMD」で動作が設定されている必要があります。(P.17ページ)

BW : 端子入力がオンの場合、強制的に白黒映像に切り換わります。

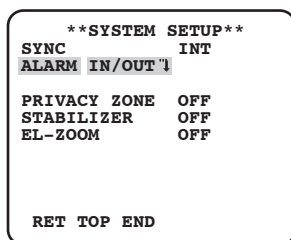
SCENE2 : 端子入力がオンの場合、「SCENE2」に設定されている内容でカメラ動作を行います。端子入力がない場合は、「SCENE1」に設定されている内容でカメラ動作を行います。

カメラのシステムに関する設定を行う [SYSTEM SETUP] (つづき)

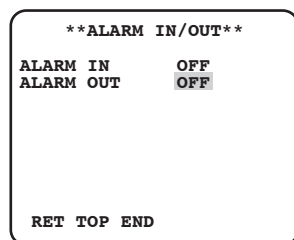
アラーム出力端子の設定を行う

アラーム出力端子の動作を設定します。以下の手順に従って操作します。

「SYSTEM SETUP」画面



「ALARM IN/OUT」画面



STEP 1

カーソルを「ALARM IN/OUT」に合わせ、設定ボタンを押します。

→「ALARM IN/OUT」画面が表示されます。

STEP 2

「ALARM OUT」にカーソルを合わせ、アラーム出力端子の動作を以下から設定します。

OFF (初期設定) : 端子出力を行いません。

ALARM : i-VMD検知を行うとアラーム出力を行います。また、「ALARM IN」が「ALARM」に設定されている場合にアラーム入力があったときも、アラーム出力を行います。

BW : 映像が白黒モードの間、出力端子をオンにします。

⑫ プライバシーゾーンを設定する [PRIVACY ZONE]

撮影場所 (画面) の中に映したくない部分がある場合、その部分 (プライバシーゾーン) だけを表示しないように設定します。プライバシーゾーンは8か所まで設定できます。

ON (1) : 灰色表示

ON (2) : モザイク表示

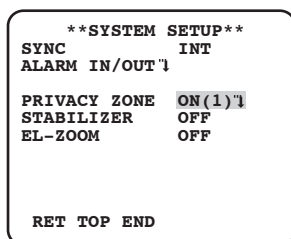
OFF (初期設定) : 通常表示

以下の手順に従って操作します。

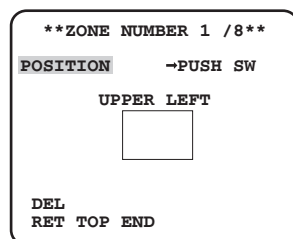
メモ

- 電源投入直後の初期化動作時は、プライバシーゾーンは動作しません。

「SYSTEM SETUP」画面



ゾーン設定画面



STEP 1

「PRIVACY ZONE」にカーソルを合わせて「ON (1)」または「ON (2)」に設定し、設定ボタンを押します。

→ゾーン設定画面が表示されます。

カメラのシステムに関する設定を行う [SYSTEM SETUP] (つづき)

STEP2

タイトル右横の数字にカーソルを合わせ、左ボタンまたは右ボタンで設定するゾーン番号を選択します。

STEP3

カーソルを「POSITION」に合わせ、設定ボタンを押します。

STEP4

上/下/左/右ボタンで設定したいゾーンの左上の位置を決め、設定ボタンを押します。

STEP5

上/下/左/右ボタンで設定したいゾーンの右下の位置を決め、設定ボタンを押します。

→数字の右横に「*」が表示され、ゾーンが保存されます。

メモ

- ゾーンを消去する場合は、消去したいゾーン番号を選択し、「DEL」にカーソルを合わせて設定ボタンを押します。
- 設定したゾーンを変更する場合は、変更したいゾーン番号を選択し、STEP3からの操作を行ってください。

⑬画揺れを補正する [STABILIZER]

カメラレンズの画揺れ補正を行うかどうかを設定します。

カメラを電柱やポールに設置した場合などに有効な機能です。

ON : 画揺れを軽減します。

OFF (初期設定) : 画揺れ補正を行いません。

重要

- 「ON」に設定すると、画角が狭くなり解像度が低くなります。「ON」に設定した場合は、カメラを取り付ける際に画角、解像度を確認してください。
- 以下の被写体に対しては、画揺れ補正が効かない場合があります。
 - 暗い被写体
 - 明暗差のない被写体 (白い壁など)
 - 機械的振動などの速い周期の画揺れ
 - 振幅の大きい画揺れ

カメラのシステムに関する設定を行う [SYSTEM SETUP] (つづき)

⑭電子ズームを設定する [EL-ZOOM]

電子ズームを使用するかどうかを「ON」 / 「OFF」で設定します。

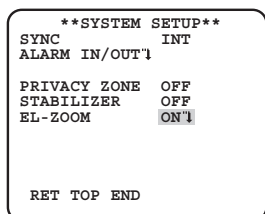
「ON」に設定した場合は、ズームの倍率やパン・チルトを設定できます。

ON : 電子ズームを使用します。

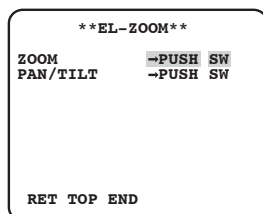
OFF (初期設定) : 電子ズームを使用しません。

以下の手順に従って操作します。

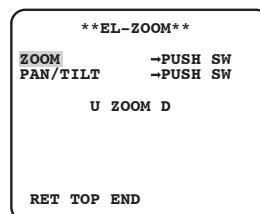
「SYSTEM SETUP」画面



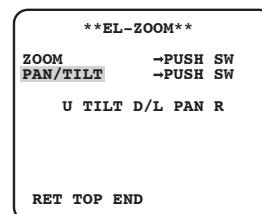
電子ズーム設定画面



ZOOM設定画面



PAN/TILT設定画面



STEP1

「EL-ZOOM」にカーソルを合わせて「ON」に設定し、設定ボタンを押します。

→電子ズーム設定画面が表示されます。

STEP2

カーソルを「ZOOM」の「PUSH SW」に合わせ、設定ボタンを押します。

→ZOOM設定画面が表示されます。

STEP3

上ボタンまたは下ボタンで電子ズームの倍率（最大2倍）を変更して画角を調整し、設定ボタンを押します。

メモ

- 電子ズームの倍率を上げると解像度が低下します。

STEP4

カーソルを「PAN/TILT」の「PUSH SW」に合わせ、設定ボタンを押します。

→PAN/TILT設定画面が表示されます。

STEP5

上／下／左／右ボタンを押して映像の位置を設定し、設定ボタンを押します。

位置は、ZOOM設定画面で設定した倍率の範囲内で変更できます。

メモ

- 初期設定に戻すときは、ZOOM設定画面またはPAN/TILT設定画面が表示された状態で、左ボタンと右ボタンを同時に約2秒間押し続けます。

バックフォーカスに関する設定を行う [BACK-FOCUS SETUP]

バックフォーカスの調整方法の設定と微調整を行います。トップ画面から「BACK-FOCUS SETUP」画面を表示して設定を行います。表示のしかたは6ページをお読みください。

バックフォーカスを調整する前に、レンズの調整を先に行ってください。(☞取扱説明書 基本編)

〈バックフォーカス調整について〉

レンズから撮像焦点までの距離を変えることにより、バックフォーカスの調整を行います。

以下の手順に従って操作します。

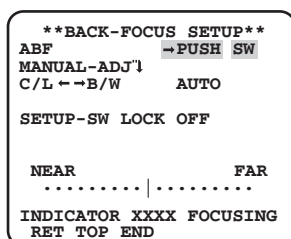
重要

- オートバックフォーカスは、設置時のバックフォーカス調整および設置後のカラー白黒切替時のフォーカス補正用です。オートフォーカス機能のような連続動作を想定した機能ではありません。
- レンズおよび設置環境の経年変化や周囲の温度変化などによってフォーカスずれが生じた場合、再度バックフォーカスの調整が必要です。

メモ

- バックフォーカスの調整は、操作ボタンを使って行うこともできます。(☞取扱説明書 基本編)

「BACK-FOCUS SETUP」画面



STEP 1

「ABF」の「PUSH SW」にカーソルを合わせ、設定ボタンを押します。

→オートバックフォーカスが働き、画面の中心領域の被写体に自動でバックフォーカスを調整します。

STEP 2

バックフォーカスを微調整したい場合は、「MANUAL-ADJ」にカーソルを合わせて設定ボタンを押したあと、左ボタンまたは右ボタンを押すと、バックフォーカスを手動で調整できます。

メモ

- 左ボタンと右ボタンを同時に2秒以上押すと、バックフォーカス位置はCSマウントの標準位置になります。
- 「INDICATOR」の数値はバックフォーカスを調整するときの目安です。数値が大きいほど、シャープな映像になります。

バックフォーカスに関する設定を行う [BACK-FOCUS SETUP] (つづき)

STEP3

「C/L↔B/W」にカーソルを合わせ、バックフォーカスの調整方法を次から設定します。

AUTO (初期設定) : カラー映像と白黒映像の切り換え時、自動的にバックフォーカスを調整し、フォーカスずれを補正します。

PRESET : カラー映像と白黒映像の切り換え時、それぞれ設定したバックフォーカスの位置にプリセット移動します。プリセット位置はカラー映像や白黒映像で、最後に設定したバックフォーカスの位置が自動的に記憶されます。

FIX : 自動または手動でバックフォーカスを調整後、位置を固定します。

STEP4

「SETUP-SW LOCK」にカーソルを合わせて「ON」に設定すると、操作ボタンからのバックフォーカス調整ができなくなるように設定できます (初期設定 : OFF)。

重要

- 被写体によってバックフォーカスを以下のように設定してください。

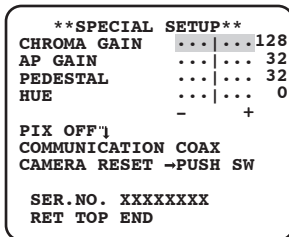
こんなときは (被写体条件)	ごうしましょう (推奨設定)	
	バックフォーカス調整	「C/L↔B/W」 切換設定
・標準的な被写体	「ABF」	「AUTO」
・動きが多い	「ABF」後に「MANUAL-ADJ」で微調整または「MANUAL-ADJ」	「PRESET」または「FIX」
・照度変化が大きい		
・低照度		
・極端に明るかったり反射する		
・窓越し		
・レンズが汚れやすい場所		
・白壁など明暗が少ない		
・深い奥行きを持つ		
・ちらつきが激しい		
・シャッターのような平行した横方向線のみ		

- 弊社はバックフォーカス機能の諸設定、あるいはその結果で被る不便、損害、被害に関して一切の責任を負わないものとします。

特別メニューの設定を行う [SPECIAL SETUP]

カメラの画質に関する設定やレシーバーを使用する際の通信の設定など、特別メニューの設定を行います。トップ画面から「SPECIAL SETUP」画面を表示して設定を行います。表示のしかたは6ページをお読みください。

「SPECIAL SETUP」画面



クロマレベル（色の濃さ）を調整する [CHROMA GAIN]

左ボタンまたは右ボタンを押して、カメラ映像の色の濃さを調整します。「+」方向に動かすと色が濃くなり、「-」方向に動かすと色が薄くなります。調整はベクトル色度指示器かモニターを見ながら調整します。

アパーチャーレベルを調整する [AP GAIN]

左ボタンまたは右ボタンを押して、画質を調整します。「+」方向に動かすとシャープな映像に、「-」方向に動かすとソフトな映像になります。調整はモニターを見ながら調整します。

メモ

- じゅうたんやカーテンなどの細かい模様を撮影すると、モアレ（干渉縞）が出ることがあります。その場合、「-」方向に動かすと緩和されます。

ペDESTALレベル（明るさ）を調整する [PEDESTAL]

左ボタンまたは右ボタンを押して、カメラのペDESTALレベル（明るさ）を調整します。「+」方向に動かすと明るい映像に、「-」方向に動かすと暗い映像になります。調整は波形モニターかモニターを見ながら調整します。

クロマ位相（色合い）を調整する [HUE]

左ボタンまたは右ボタンを押して、カメラ映像の色合いを調整します。調整はベクトル色度指示器やモニターを見ながら調整します。

メモ

- 「CHROMA GAIN」「AP GAIN」「PEDESTAL」「HUE」の設定値は、左ボタンと右ボタンを同時に2秒以上押すと、初期設定に戻ります。

特別メニューの設定を行う [SPECIAL SETUP] (つづき)

傷を補正する [PIX OFF]

カメラ映像内の傷を補正します。16か所まで補正できます。
以下の手順に従って操作します。

「SPECIAL SETUP」画面

```

**SPECIAL SETUP**
CHROMA GAIN  ...|...128
AP GAIN      ...|... 32
PEDESTAL     ...|... 32
HUE          ...|...  0
              -  +
PIX OFF
COMMUNICATION COAX
CAMERA RESET →PUSH SW
SER.NO. XXXXXXXX
RET TOP END

```



「PIX OFF」画面

```

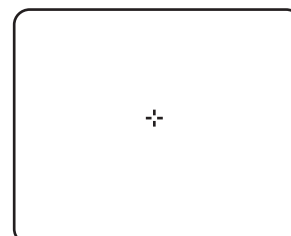
**PIX OFF**
 1   2   3   4
 5   6   7   8
 9  10  11  12
13  14  15  16

000 000
RET TOP END

```



傷補正位置設定画面



STEP1

「PIX OFF」にカーソルを合わせ、設定ボタンを押します。
→「PIX OFF」画面が表示されます。

STEP2

傷補正位置を登録する番号（1～16）を選択し、設定ボタンを押します。
→傷補正位置設定画面が表示されます。

STEP3

上／下／左／右ボタンを押して、補正したい傷の中心位置に十字カーソルを移動し、設定ボタンを押します。
→傷が補正され、傷補正位置が登録されます。「PIX OFF」画面に戻ります。登録されると、数字の右に「*」印が表示されます。座標が数字で表示されます。

メモ

- 登録した傷補正位置を消去する場合は、「PIX OFF」画面で消去したい傷補正位置が登録されている番号にカーソルを合わせ、設定ボタンを押します。傷補正位置設定画面が表示されたら、左ボタンと右ボタンを同時に2秒以上押します。「PIX OFF」画面に戻り、傷補正位置が消去され、数字右の「*」印が消えます。

特別メニューの設定を行う [SPECIAL SETUP] (つづき)

通信設定を行う [COMMUNICATION]

レーザーを使用したシステムで、本機を使用する場合に必要な通信設定を行います。

COAX (RCV) : 弊社製レーザー (WV-RC100、WV-RC150) を使用するときは、この設定にします。

COAX (初期設定) : レーザーを使用しないときは、この設定にします。

初期設定に戻す [CAMERA RESET]

SETUPメニューの設定内容を初期設定に戻します。

カーソルを「CAMERA RESET」の「PUSH SW」に合わせ、左ボタンと設定ボタンと右ボタンを同時に2秒以上押し続けると、設定内容が初期設定の状態に戻ります。

メモ

- バックフォーカスの設定 (28ページ) と登録した傷補正位置のデータは消去されません。
-

シリアルナンバーを確認する [SER.NO.]

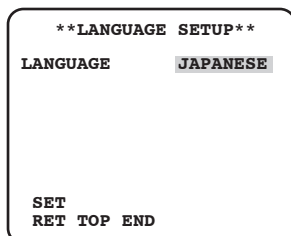
本機のシリアルナンバーが表示されます。

言語を設定する [LANGUAGE SETUP]

SETUPメニューの言語を以下から設定します。トップ画面から「LANGUAGE SETUP」画面を表示して設定を行います。表示のしかたは6ページをお読みください。

JAPANESE (日本語) (初期設定) / ENGLISH (英語) / FRANÇAIS (フランス語) / ESPAÑOL (スペイン語) / DEUTSCH (ドイツ語) / ITALIANO (イタリア語) / РУССКИЙ (ロシア語)

「LANGUAGE SETUP」画面



言語を切り換える場合は、左ボタンまたは右ボタンで言語を選択したあと、「SET」にカーソルを合わせ、設定ボタンを押してください。

メモ

- 言語を切り換えた場合、設定されているカメラタイトルはクリアされます。
 - LANGUAGE設定が「JAPANESE」(日本語)の場合のみ、「CAMERA ID」画面でカナ入力できます。
 - LANGUAGE設定を「JAPANESE」(日本語)にした場合でも、SETUPメニューは英語で表示されます。
-

ショートカット操作について

「カメラ機能」 ボタンのあるシステムコントローラーを使用すると、テンキーとカメラ機能ボタン操作で機能の設定をすることができます（ショートカット操作）。本機で使用できるショートカット操作は次のとおりです。

システムコントローラーの操作	設定内容
[8] + [3] + [カメラ機能]	スーパーダイナミックON (i-VMD)
[8] + [4] + [カメラ機能]	スーパーダイナミックON
[8] + [5] + [カメラ機能]	スーパーダイナミックOFF
[9] + [0] + [カメラ機能]	画面の白黒制御 (BW) ON
[9] + [1] + [カメラ機能]	画面の白黒制御 (BW) OFF
[9] + [2] + [カメラ機能]	画面の白黒制御 (BW) AUTO1
[9] + [3] + [カメラ機能]	カメラタイトル (CAMERA ID) ON
[9] + [4] + [カメラ機能]	カメラタイトル (CAMERA ID) OFF
[9] + [8] + [カメラ機能]	電子ズームON
[9] + [9] + [カメラ機能]	電子ズームOFF
[1] + [6] + [8] + [カメラ機能]	画面の白黒制御 (BW) AUTO2
[1] + [6] + [9] + [カメラ機能]	レンズの絞り (IRIS) OPEN
[1] + [7] + [0] + [カメラ機能]	レンズの絞り (IRIS) CLOSE
[1] + [7] + [1] + [カメラ機能]	電子シャッター (SHUTTER) ON
[1] + [7] + [2] + [カメラ機能]	電子シャッター (SHUTTER) OFF
[1] + [7] + [3] + [カメラ機能]	電子シャッター速度を1段階速くする
[1] + [7] + [4] + [カメラ機能]	電子シャッター速度を1段階遅くする
[1] + [7] + [5] + [カメラ機能]	ゲイン調整 (AGC) ON
[1] + [7] + [6] + [カメラ機能]	ゲイン調整 (AGC) OFF
[1] + [7] + [7] + [カメラ機能]	電子感度アップ (SENS UP) FIX ON
[1] + [7] + [8] + [カメラ機能]	電子感度アップ (SENS UP) FIX OFF
[1] + [7] + [9] + [カメラ機能]	電子感度を1段階上げる (FIX)
[1] + [8] + [0] + [カメラ機能]	電子感度を1段階下げる (FIX)
[1] + [8] + [1] + [カメラ機能]	電子感度アップ (SENS UP) AUTO ON
[1] + [8] + [2] + [カメラ機能]	電子感度アップ (SENS UP) AUTO OFF
[1] + [8] + [3] + [カメラ機能]	電子感度を1段階上げる (AUTO)
[1] + [8] + [4] + [カメラ機能]	電子感度を1段階下げる (AUTO)
[1] + [8] + [5] + [カメラ機能]	電源同期位相調整 (FINE) 1段階上げる
[1] + [8] + [6] + [カメラ機能]	電源同期位相調整 (FINE) 1段階下げる
[1] + [9] + [0] + [カメラ機能]	BW AUTOの切り換え時間を2秒にする
[1] + [9] + [1] + [カメラ機能]	BW AUTOの切り換え時間を10秒にする
[1] + [9] + [2] + [カメラ機能]	BW AUTOの切り換え時間を30秒にする
[1] + [9] + [3] + [カメラ機能]	BW AUTOの切り換え時間を60秒にする
[2] + [0] + [1] + [カメラ機能]	振動補正 (STABILIZER) ON
[2] + [0] + [2] + [カメラ機能]	振動補正 (STABILIZER) OFF
[2] + [0] + [7] + [カメラ機能]	動き検知 (MOTION) ON
[2] + [0] + [8] + [カメラ機能]	動き検知 (MOTION) OFF
[2] + [0] + [9] + [カメラ機能]	置き去り／持ち去り検知ON
[2] + [1] + [0] + [カメラ機能]	置き去り／持ち去り検知OFF
[2] + [1] + [1] + [カメラ機能]	妨害検知ON

ショートカット操作について（つづき）

システムコントローラーの操作	設定内容
[2] + [1] + [2] + [カメラ機能]	妨害検知OFF
[2] + [1] + [3] + [カメラ機能]	シーンファイル1
[2] + [1] + [4] + [カメラ機能]	シーンファイル2
[2] + [1] + [5] + [カメラ機能]	ゲイン (AGC) を1段階上げる
[2] + [1] + [6] + [カメラ機能]	ゲイン (AGC) を1段階下げる

■当社製品のお買物・取り扱い方法・その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック株式会社 システムお客様ご相談センター

フリーダイヤル

 **0120-878-410** 受付：9時～18時（土・日・祝日除く）

ホームページからのお問い合わせは <https://sec.panasonic.biz/solution/info/>

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

便利メモ おぼえのため 記入されると 便利です	お買い上げ日	年	月	日	品番	WV-CP500,WV-CP504
	販売店名	電話（	）	—		

パナソニック株式会社 システムソリューションズ社

〒223-8639 横浜市港北区綱島東四丁目3番1号